

昭和前期の娯楽施設

1931（昭和6）年には現在の中島町新町に「睦劇場」という娯楽場ができ、芝居を上演していた。この娯楽場の名付け親は早川龍介ということである。杉浦製糸所の女工さんや地元の人たちなど700人を収容できる大きな劇場であったようである。杉浦製糸所の景気がよい時代で、女工さん、地元の人たちはもちろん西尾や幸田からも芝居を見に来ていたようである。1943（昭和18）年「睦劇場」の跡継ぎが兵隊に召集されたため劇場は解体され、平坂に移された。また、1948（昭和23）年になると杉浦製糸所の南の乾燥場を改装して「マルス劇場」ができた。初めの頃は芝居が中心であったが、後に映画館となり、1960（昭和35）年頃テレビの普及などで閉館となった。1945（昭和20）年頃には中島町新町に「中島銭湯」があり、当時は内風呂が少なかったこともあり、繁盛していた。また、「睦劇場」のすぐ近くにパチンコ屋があったようである。



睦劇場 正面
1917(昭和6)年興業許可
1936(昭和11)年撮影
つるや呉服店提供

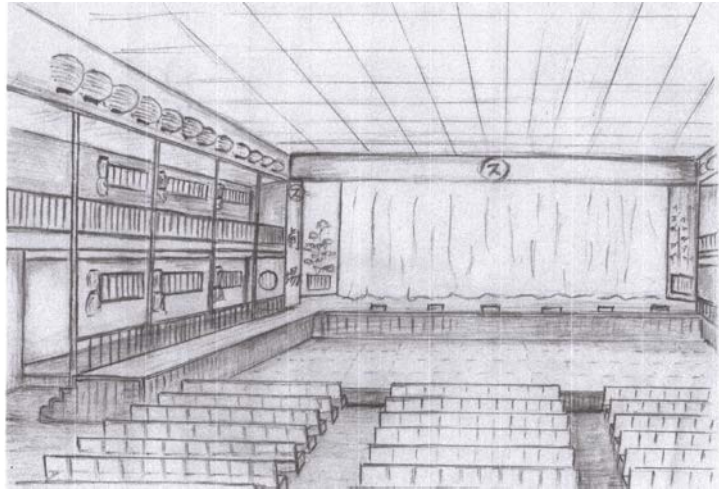


睦劇場跡地 手前の空き地 20150916



睦劇場跡地 手前の空き地 20150916

1955（昭和30）年頃のマルス劇場内部（本町、鈴木氏作成）

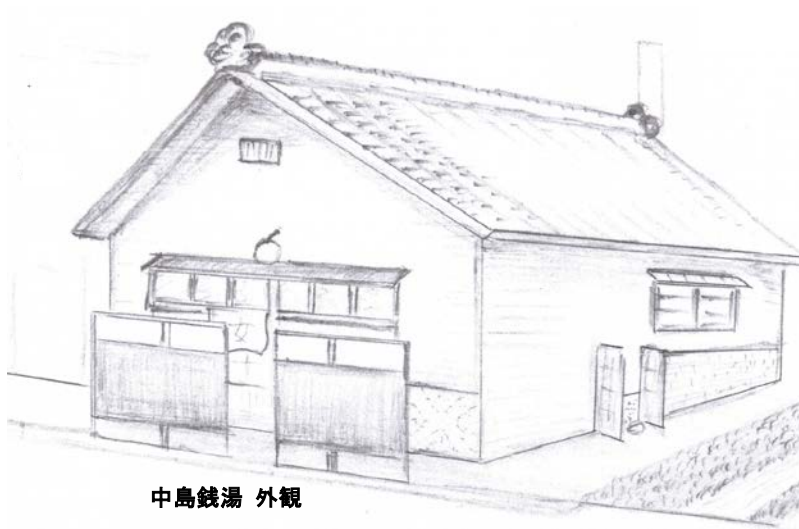


マルス劇場 内部

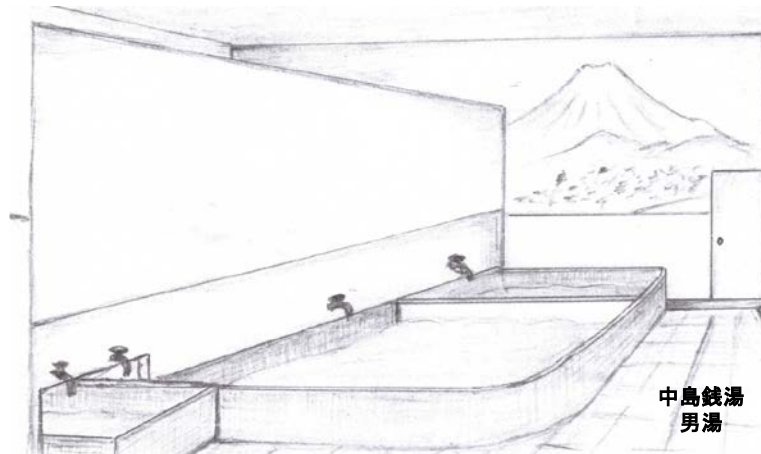


マルス劇場
1953(昭和28)年
赤堀流舞踊会
鶴田恭枝、坂部公子
つるや呉服店提供

1950（昭和25）年頃の中島銭湯（本町、鈴木氏作成）



中島銭湯 外観



中島銭湯
男湯



本項は以下の資料を引用している。

[わたしたちのふるさと 六ツ南 114 選]

- 監修者 総代会長 平井 良美
社教委員長 近藤 武美
- 著者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6 年児童 114 名
(平成 25 年 3 月 19 日卒業)
- 編者 岡崎市立六ツ美南部小学校 6 年担任
権田 康成、加納 隆、坂井 純、榊原 美佐子、山本 佳愛
- 発行日 2013 (平成 25) 年 3 月 1 日 初版発行
- 印刷所 ブラザー印刷株式会社
- 製本 ブラザー印刷株式会社
- 発行 岡崎市立六ツ美南部小学校